

世田谷村日記

石山修武

四月六日

朝九時から十八時迄研究室で各種打合わせ。その間グリーン・アロー社小川氏、エクスナレッジ・ホーム来訪。セルフ・ビルド出版の件、他。十八時過機械学科B、各先生のロボット研究、水素エネルギー等の話しをうかがう。二〇時修了。二〇時半大学を出る。二十一時過世田谷村。遅い夕食。食後中川さん来村。研究室では無駄なミーティングと無駄ではないミーティングの落差がはつきりしてきた。建築を扱う(物質として)ことよりも、人間を扱う事の困難さよ。アントニ・ガウディとはだれか、磯崎新著、王国社、読む。磯崎さん流のガウディ神話解体の本になっている。磯崎さんだからこそ、自らが空洞化できたものへの裏腹な渴望が行間から浮かび上がっている様な読後感もあった。磯崎新とはだれか、の本だこれは。

四月七日

七時半世田谷村を発つ。家内に羽田まで送ってもらい、九時十分の便で福岡へ。機内で一時間半程スケッチ。青森下田町の計画まとめる。エスキスしている時間はアツという間に過ぎるが、確かにデザインするのは思い付きの連続だな。思い付き(飛躍)の断片をなめらかに連続させてゆくのが、直観的論理というか、図形判断への気持の中の心棒みたいなものだ。手を動かしている事が脳を刺激するらしい。福岡にもう着くが、研究室の石井にすぐ

スケッチをFAXしなくては。上田を参加させた方がいいな。

十二時前、福岡着。松尾建設権藤氏迎えてくれて、松尾建設社屋で東京新木場の件打合わせ。近くで昼食をとり、十四時半、忍田邸へ。十八時過迄打合わせ。石山研安藤からの資料仲々届かず、迷惑至極。彼女は中心的なスタッフとしては問題あるかなと初めて自ら建てた方針に不安を感じる。周りが皆、不安だと言う人間を支持するまでのことは無いのかも知れない。明日結論を出す。

忍田夫人との打合わせは、それでも面白かった。十七時半、ホテル日航福岡内のスシ屋で忍田夫妻と会食。忍田さんご主人とゆつくり話すのは初めてで、良かった。と言うよりも、必然だなこの対面は。忍田氏は九州最大の建築、電気部材の問屋カンサイの社長で、色々ときたんの無い話しをさせていただいた。忍田邸設計の主題がようやく浮彫りにされた。二十三時過会食了。楽しい会食であった。ホテル・ニューオータニ福岡泊。日本の流通の複雑な問題に痛く関心を持つ私に対し、忍田氏は問屋は「工場を持たぬメーカーである」と言う考えを示された。問屋も超サブコン機能を持つ可能性があるのを知った。